

キタ！からきた



だより 第183号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

カムバック投稿
紙配信されていなかった
記事を再投稿します！
令和5年9月号より

＜大阪北支部・会員リレー紹介 045＞ レポーター（津田 愛）

今回ご紹介するのは大阪市内の地域包括支援センターのオレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）にてお勤めされている森口 浩さんです。

森口さんは2年前に社会福祉士を取得されたそうです。今まで障がい分野・高齢者分野の相談員としても活躍され、デイサービスでは、見事黒字化へと導く対話による信頼での福祉作りの面白さ、在宅への関心が強まり、社協での地域作りへも挑戦されています。

当時関わりが深かった地域包括支援センターの方たちが持つ色々な方と繋がるご縁や地域の身近な相談室というやりがいに影響を受け、自分も地域包括支援センターで働きたいと考え、社会福祉士を目指し、現在の職場を選ばれたそうです。現在オレンジチームとして2年目、「相談援助は心の声を引き出すような仕事」にやりがいも感じられているそうです。しかし、認知症の本人が困っているというケースより、周りが困っているという事が多いため、排除するような社会ではなく、「誰の為の支援なのか？」と立ち返る事を、日々大切にされているそうです。

今後は居場所作りを展開していきたいそうで、気持ちを吐き出す場だけでなく、アクティビティ、美容、スポーツなど型にはめ込まない取り組みを展開したいと語られていました。そんな森口さんにとっての癒しは飼い猫のハナ君と触れ合う時間だとか。

私も同じオレンジチーム1年目ですが、当事者会や飲食店でのオレンジカフェなど、森口さんのお知恵もお借りしながら目指したい！と決意できた時間になりました。ありがとうございました。



大阪北支部 事例検討スキル向上勉強会（第2回）の報告

8月17日（日）と9月7日（日）に一般社団法人ダイアログス就労支援ポリフォニーで開催された「事例検討会のスキル向上に向けての勉強会」に参加しました。勉強会では、渡部律子先生（著）の「基礎から学ぶ 気づきの事例検討会～スーパーバイザーがいなくても実践力は高められる～」を参加者で読み合わせや意見交換などをしながら、皆で勉強しました。テキストのタイトルに「基礎から学ぶ」とあるとおり、普段、何気なく理解しているつもりのことを、基礎からしっかりと学び直しをすることができたことや、日頃のソーシャルワーク実践をする上で、学ぶ機会を持って、スキルを磨き続けていくことの大切さを、改めて実感することができました。是非、皆さま、学びの多い「気づきの事例検討会」にご参加してみてください！

（大阪北支部 三尾浩一）



稲松先生が
サプライズ参加
してくださいま
した！！



★大阪北支部公式LINEアカウントのお知らせ（※他支部の方の登録も大歓迎です！！）
 情報が早い！情報が手元に届く支部公式LINEです。紙の広報誌よりも早く情報が届きます。
 LINE「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するかQRコードをスキャンしてください。

